

第1回 駒井公園ワークショップ

令和5年7月9日（日）10：00～12：00
狛江市南部地域センター 1階多目的ホール

狛江市

本日の流れ

- (1) ワークショップの概要
- (2) 対象地について
- (3) 駒井公園の現況
- (4) 公園づくりを行うにあたって
- (5) ワークショップの進め方
～自己紹介～
- (6) ワークショップ
 - ①テーマ1：駒井公園のコンセプトを考えよう
 - ②テーマ2：駒井公園のゾーニングを考えよう
- (7) 今後のスケジュール（予定）

(1) ワークショップの概要

(1) ①ワークショップの主旨

駒井公園は、平成27年12月に都市計画決定し、令和4年2月に事業認可取得をしています。整備に向け、市民の方に積極的に利用していただける公園となるように、計画段階から様々な手法を用いて意見を収集し利用状況を確認しつつ、ワークショップ等によって**基本方針を作成し、地域の皆様が主体となる公園基本計画の策定**を目的としています。

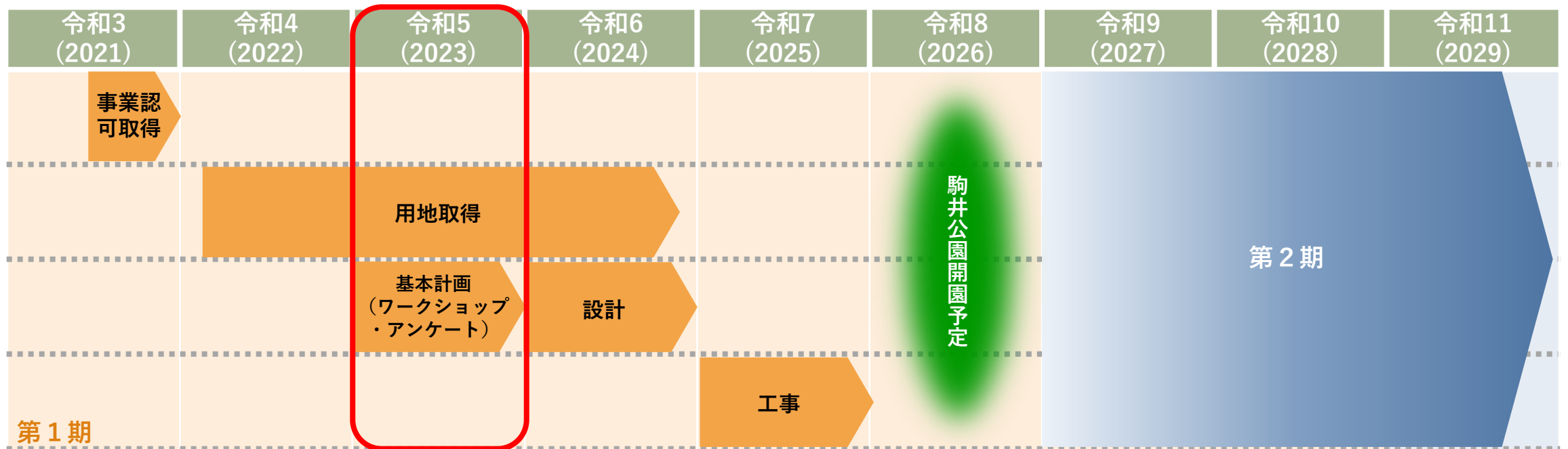
「どんな公園を目指したいか（コンセプト）」

この公園の「どこでどんな活動をしたいか（ゾーニング）」

について、皆様のご意見をお聞かせください！

(1) ②事業スケジュールについて

(仮称) 駒井公園整備事業では、令和5～8年度(予定)の期間を「**第1期**」、それ以降(時期未定)を「**第2期**」とします。来年度から詳細設計に入るにあたり、今年度は基本計画の策定を行います。

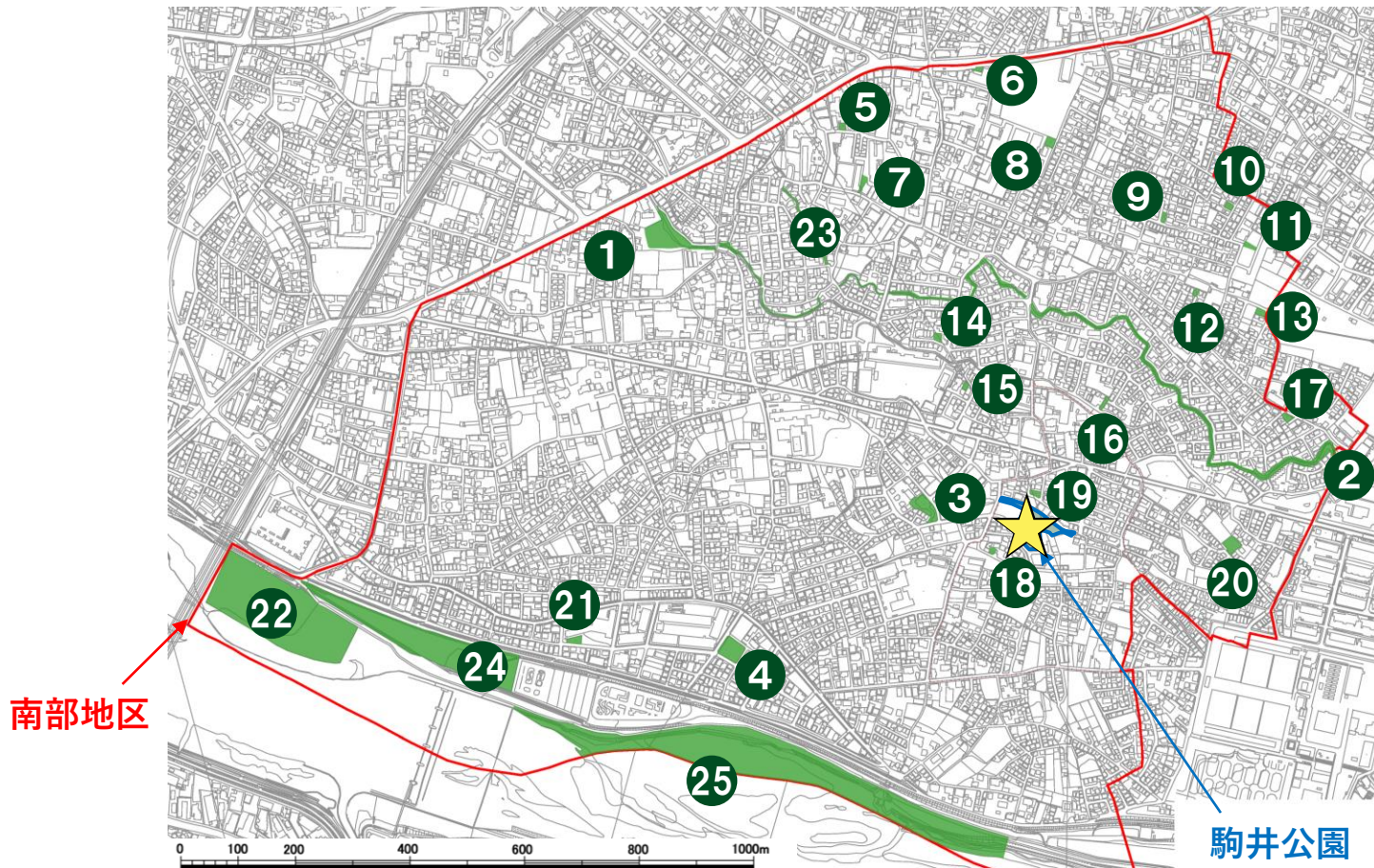


※事業の進捗によってスケジュールは変更する場合がございます。

(2) 対象地について

(2) ①対象地周辺の公園位置図

今回、「狛江市緑の基本計画（令和2年）（p.11参照）」内、公園緑地規模分布図における「南部地区」を検証対象範囲としています。**駒井公園**は地区の南東部寄りに位置しています。



	名称	面積
都市公園（街区公園）		
★	駒井公園	約4,400㎡
①	清水川公園	1,273.80㎡
②	岩戸川南公園	219.31㎡
③	駒井・上村中ひだまり公園	1,193.95㎡
④	供養塚児童公園	1,301.30㎡
⑤	岩戸第二児童遊園	100.38㎡
⑥	やまぶき児童遊園	114.65㎡
⑦	岩戸第三児童遊園	259.38㎡
⑧	イルカ児童遊園	255.51㎡
⑨	はなみずき児童遊園	155.00㎡
⑩	相の原児童遊園	173.84㎡
⑪	もみの木児童遊園	234.19㎡
⑫	こでまり児童遊園	104.06㎡
⑬	オナガ児童遊園	161.87㎡
⑭	岩戸児童遊園	194.49㎡
⑮	こぶし児童遊園	118.68㎡
⑯	メジロ児童遊園	175.19㎡
⑰	稲荷森児童遊園	202.78㎡
⑱	なしの木児童遊園	113.65㎡
⑲	駒井児童遊園	172.71㎡
⑳	平川戸児童遊園	657.00㎡
㉑	うりぼう児童遊園	275.81㎡
その他の公園		
㉒	多摩川緑地公園	13,306.49㎡
㉓	岩戸川緑地公園	12,380.54㎡
㉔	多摩川自由ひろば	約15,000㎡
㉕	狛江水辺の楽校	約40,000㎡

→ 近隣の公園と比較しても、街区公園として**駒井公園は広い**！

(2) ② 駒井公園の位置図

所在地：狛江市駒井町2丁目21、22
面積：約4,400㎡



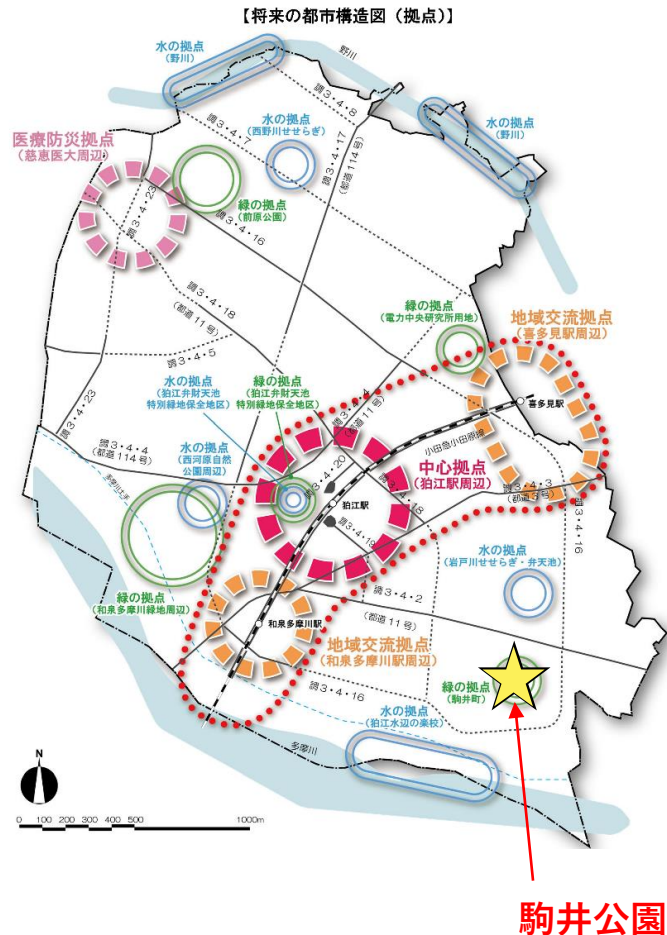
対象地の様子

(3) 駒井公園の現況

(3) ①公園の位置付け

■ 狛江市都市計画マスタープラン・立地適正化計画 (令和4年12月)

市民にとって安全で快適な都市環境をつくり出すための道路・公園づくりなど、さまざまなまちづくりに関する基本的、総合的、長期的な方針となる「狛江市都市計画マスタープラン・立地適正化計画」において、駒井公園は「緑の拠点」として位置付けられています。



凡例	
	中心拠点
	地域交流拠点
	医療防災拠点
	緑の拠点
	水の拠点
	にぎわいゾーン (3駅周辺の連携)
	都市計画道路 (完成・概成区間)
	都市計画道路 (事業中・未着手区間)
	鉄道・鉄道駅
	行政界
	河川

■ 狛江市緑の基本計画 (令和2年3月)

都市における緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する措置を定め、緑豊かなまちづくりを進めていくための指針となる「狛江市緑の基本計画」を定めています。

● 南部地区の特徴

狛江市は地域によって公園面積・配置に偏りがあり、南部地区は「農地の緑が多く、樹木・樹林は少ない」状況となっており、公園面積の確保が必要となっています。

● 計画の推進体制

市が公園の確保や維持管理に計画的に取り組むとともに、**市民が主体となった緑の保全、創出、活用の取組を様々な主体と協力して進めていくことが重要です。**

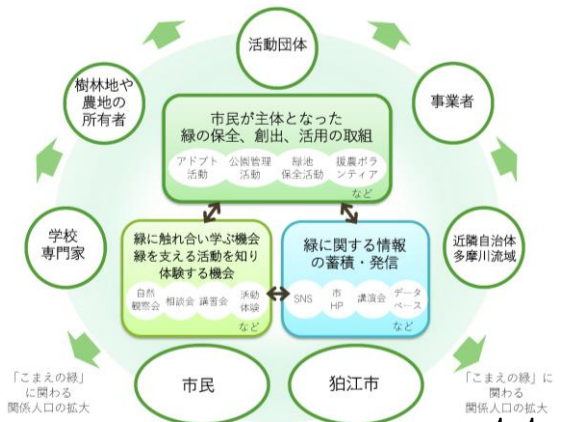
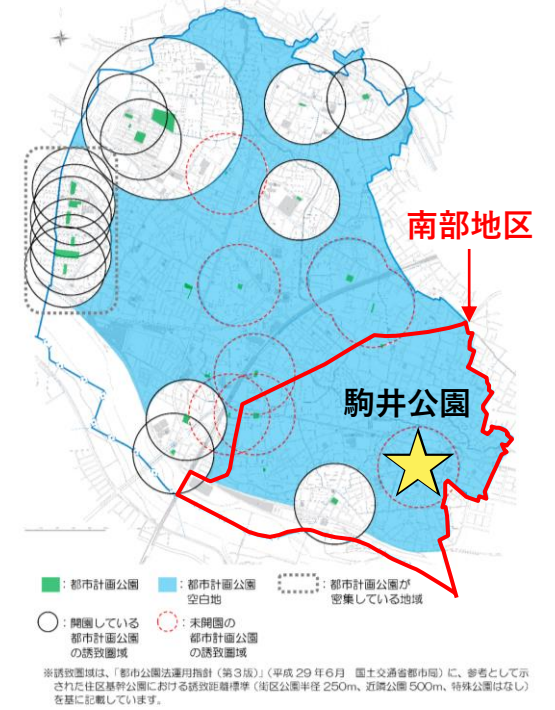


図5-1 推進体制

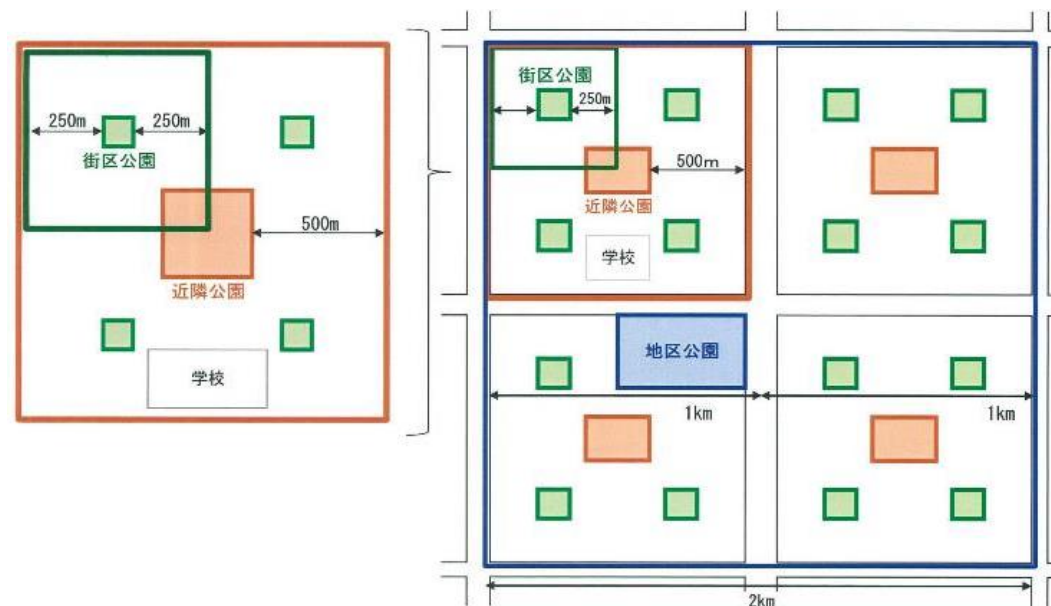
(3) ②街区公園とは

■主な都市公園の種類

	種別	概要	配置の目安	標準面積
住区基幹公園	街区公園	街区に居住する者の利用に供する公園	誘致距離250m圏内	0.25ha
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供する公園	誘致距離500m圏内	2ha
	地区公園	主として徒歩圏域内に居住する者の利用に供する公園	誘致距離1km圏内	4ha

住区基幹公園とは？

- 住区基幹公園とは、都市の匿名性・相互の無関心などの弊害を、コミュニティの育成によって克服することを目的として、C・A・ペリー（米、1872～1944）によって提唱された「近隣住区論」を基にしたものです。ひとまとまりのコミュニティである「**近隣住区**（幹線道路等に囲まれたおおむね1km四方（面積100ha）の居住単位）」を配置単位として、1近隣住区あたり4カ所の**街区公園**を誘致距離250m、1カ所の**近隣公園**を誘致距離1km、4近隣住区あたり1カ所の**地区公園**を誘致距離2kmで計画します。



住区基幹公園配置基準イメージ

→駒井公園は半径250m以内の住民が利用できるような**遊戯施設や広場、休憩施設等**が配置された「街区公園」に該当します12

(3) ③対象地周辺の公園の概要

以下に、駒井公園周辺に立地する主要な公園とその概要について整理しました。

	名称	面積	特徴	機能									
				水飲み	遊具	砂場	園灯	時計	ベンチ	消火器 (栓)	防火 水槽	植栽	その他
①	駒井・上村中 ひだまり公園	1,193.95㎡	<ul style="list-style-type: none"> ●平成13年開園 ●中規模街区公園 ●基本構想にあたり、住民アンケートを行い実施設計に反映 ●中央に多目的に使用できる広場 	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○ (記念 竣工碑)
②	供養塚 児童公園	1,301.30㎡	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和42年開園 ●中規模街区公園 	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○ (供養碑・ 土のうステー ション)
③	メジロ 児童遊園	175.19㎡	<ul style="list-style-type: none"> ●平成14年開園 ●小規模街区公園 ●開発による寄付で完成 	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×
④	なしの木 児童遊園	113.65㎡	<ul style="list-style-type: none"> ●平成7年開園 ●小規模街区公園 ●開発による寄付で完成 	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×
⑤	駒井児童遊園	172.71㎡	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和44年開園 ●小規模街区公園 	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×
⑥	平川戸 児童遊園	657.00㎡	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和48年開園 ●中規模街区公園 	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×

→近隣の公園では、「水飲み」「遊具」「園灯」「植栽」が必要な機能として整備されていることが分かります。

(3) ④これからの公園に求められる役割等

社会的な潮流によって、公園に求められる役割も変化しています。今後、公園づくりにおいては、以下のような視点が重要とされています。

バリアフリー・インクルーシブ

- 障がいの有無や年齢等を問わず全ての人が人権と尊厳を大事にして生きていける「インクルーシブ」な社会を目指す中で、円滑な利用ができる「バリアフリー」機能が公園にも求められています。



うみどり公園

大型複合遊具をはじめ、4種類のブランコ、楽器のような遊具などインクルーシブ遊具を多数設置。

(出典：岩手県宮古市)

コミュニティ形成・プレイスメイキング

- 「プレイスメイキング」とは、1960年代のアメリカで提唱されたもので、まちなかのちょっとした空間に、人々の居心地の良い居場所をつくり、地域コミュニティを形成することを指します。



KOMAEわくわくストリートプロジェクト

狛江駅周辺の道路にファニチャーや人工芝を配置し、賑わいと快適な歩行空間創出を目的とした期間限定の社会実験。

(出典：狛江市)

安心・安全

- 地震災害時に復旧拠点や生活物資等の中継基地等となる防災拠点、また、周辺からの避難者を受け入れ、火災等から人々の命を守る避難場所としての機能が求められています。



日比谷公園

普段は日よけや休憩所として使われているパーゴラも災害時には、拠点や救護所として利用できる。

(出典：千代田区)

環境・グリーンインフラ

- 「グリーンインフラ」とは、自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方で、昨今、海外を中心に取組が進められ、日本でもその概念が浸透してきています。



上用賀公園

周辺に降った雨を集めて地下に浸透させる植栽地である「レインガーデン」を整備。

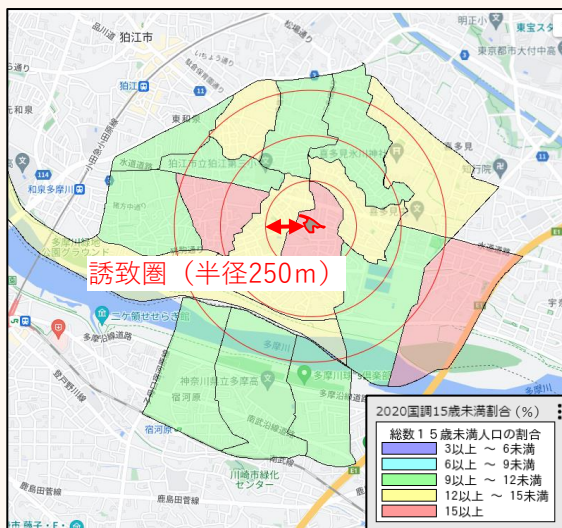
(出典：世田谷区) 4

(3) ⑤近隣住民の利用想定

街区公園は、基本的に**半径250m圏内**の住民に向けた公園で、幅広く住民の利用を想定していますが、特に**子ども・高齢者**などによる利用が期待できます。

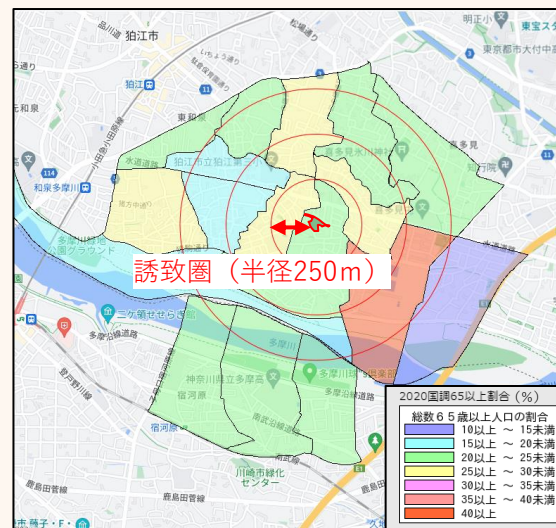
子ども

- 「国勢調査2020年の15歳未満割合」では、誘致圏内（半径250m圏内）は**若年人口割合が高い**ことが分かる。
→ **幼稚園・小学校・中学校が近隣に立地**するため、子どもが多く、**ファミリー世帯が多い**と考えられる。



高齢者

- 「国勢調査2020年の65歳以上割合」では、誘致圏内（半径250m圏内）は**比較的高齢人口割合が高い**ことが分かる。
→ **成熟した住宅地**で、**高齢者が多い**と考えられる。



(3) ⑥地域特性

地域住民に親しまれる公園にするため、地域の特徴や資源を活かすことが大切です。

歴史・学び

●古墳

狛江には多くの古墳が築造された歴史があり、古墳が多いことから「狛江百塚」と呼ばれています。駒井町に古墳は現存していませんが、狛江の軌跡を感じられる場所として注目されています。



●教育施設の周辺立地

駒井公園周辺には、幼稚園や保育園等の子育て施設、小中学校等の教育施設といった多くの子どもが集まる施設が複数あるため、**公園での子どもの体験学習・アクティビティ**も想定できます。



文化

●絵手紙発祥の地 - 狛江

昭和56年に狛江郵便局において、日本で初めての絵手紙教室が開催され、その後多くの絵手紙ファンが狛江から全国に広がったこともあり、絵手紙発祥の地として知られています。



●音楽の街 - 狛江

狛江駅前での野外ライブや市役所でのロビーコンサート、小・中学校での学校公演等を行い、気軽に音楽に触れ合える環境作りを目指しています。



●こまえ楽市

毎月一回市役所の市民ひろばで開催されている「こまえ楽市」は、物品等の販売、フリーマーケット、ライブなどが実施されています。

人材・施設

●町会

令和4年5月に設立50年を迎えた駒井町会は、市内の町会では加入率が最も高く66%の住民が加入しており、**コミュニティ意識の高さを活かした公園運営**が期待できます。

●公共公益施設

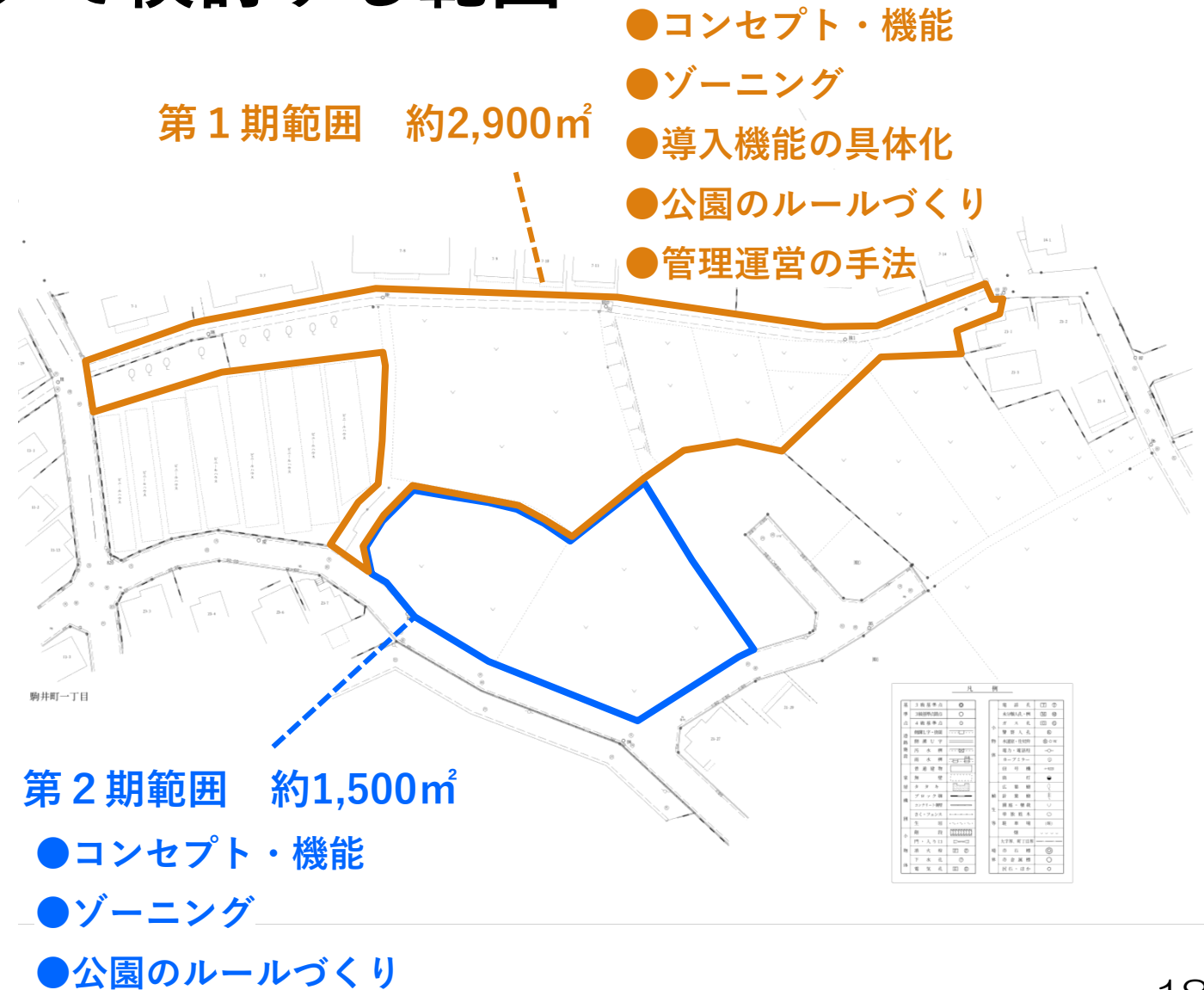
近隣にコンビニエンスストア・スーパー等の商業施設が立地しているため、**買い物前後の休息や立ち寄り場所等としての公園利用**が想定できます。



(4) 公園づくりを行うにあたって










(4) ①ワークショップで検討する範囲

WS	検討事項	検討事項の範囲	
		第1期	第2期
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ●コンセプト・機能 ●ゾーニング 	○	○
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ●導入機能の具体化 (設備等の種類・配置) ●公園のルールづくり 	○	△ 「導入機能の具体化」の検討は行わない
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ●管理運営の手法 	○	× 具体的検討は行わない



(4) ② 駒井公園で確保したい機能・設備

赤字は、狛江市として導入を検討しているものです。

	最低限確保したい…	これまでの公園から新たに確保したい…	その他考えられる…
機能	<p>遊び</p>  <p>憩い</p>  <p>見守り</p>  <p>防犯</p> 	<p>防災（避難場所・設備）</p> 	<p>環境学習</p>  <p>健康増進</p>  <p>飲食</p>  <p>農業</p> 
設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊具 ● トイレ ● 防犯カメラ ● 植栽 ● ベンチ ● パーゴラ・デッキなど ● 園灯 <p>…etc</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オープンスペース ● 非常用電源・非常用照明設備 ● 防災トイレ・防災パーゴラ ● 備蓄倉庫 ● かまどベンチ ● 街頭消火器 <p>…etc</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康増進遊具 ● ビオトープ ● 花壇 ● キッチンカー等の誘致 ● 自動販売機 ● ミストシャワー ● 体験農業施設 <p>…etc</p>

→ 駒井公園で「どんな公園を目指したいか（コンセプト）」

「どこでどんな活動をしたいか（ゾーニング）」考えてみましょう

(4) ③ 計画上の留意点



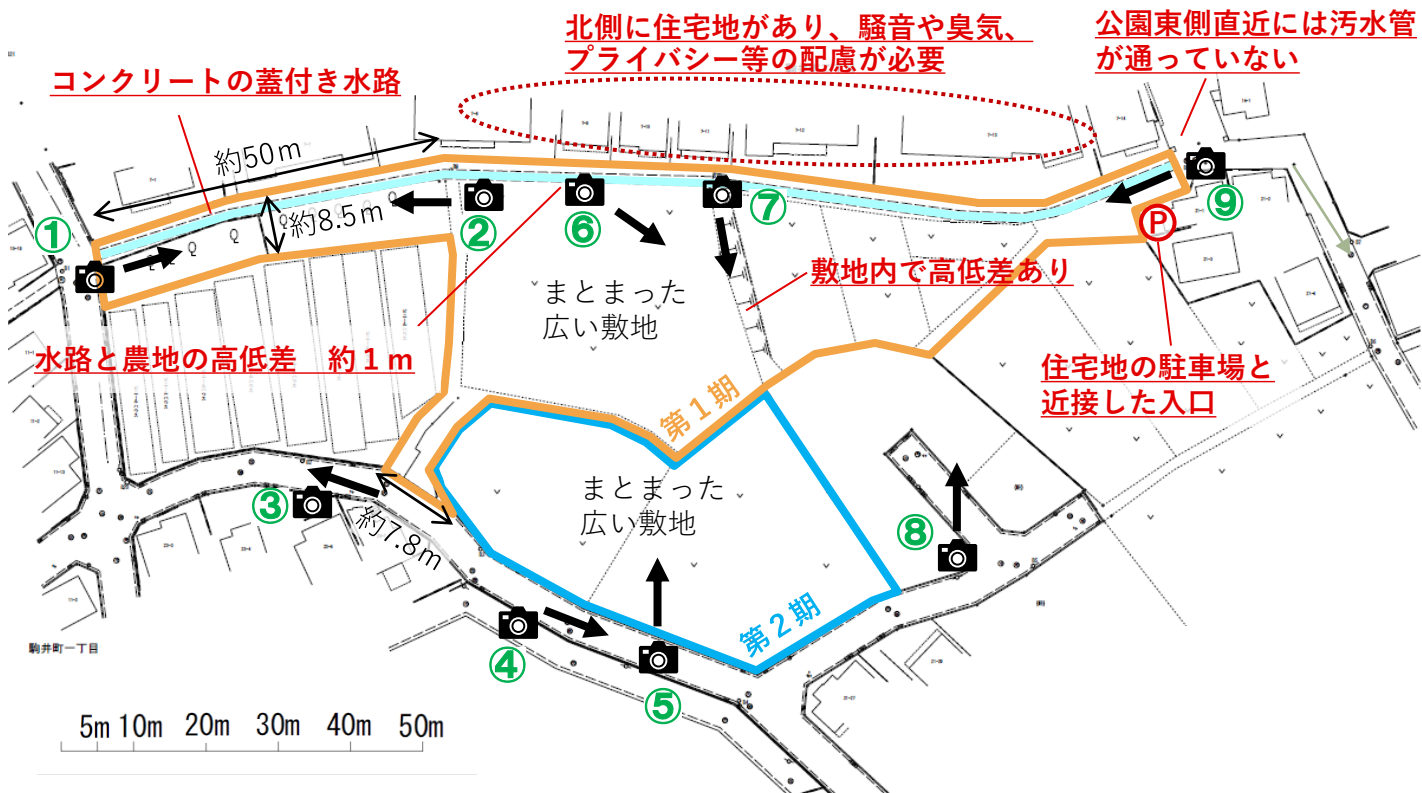
① 北側に住宅地があり、騒音や臭気、プライバシー等の配慮が必要



② コンクリートの蓋付き水路



③ 住宅地の駐車場と近接した入口



⑨ 住宅地の駐車場と近接した入口



⑧ 住宅地の駐車場と近接した入口



④ 敷地内で高低差あり



⑤ 敷地内で高低差あり



⑥ 水路と農地の高低差 約1m



⑦ 敷地内で高低差あり

(5) ワークショップの進め方

(5) ①話し合いのルール

話し合いをはじめる前に...

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 自由で対等な立場で発言しましょう
- 他の人の話を最後まで聞き、意見を尊重しましょう
- 他の人の意見を否定しないようにしましょう
- 全員が話せるように、話を独占しないようにしましょう（1～2分程度まで）

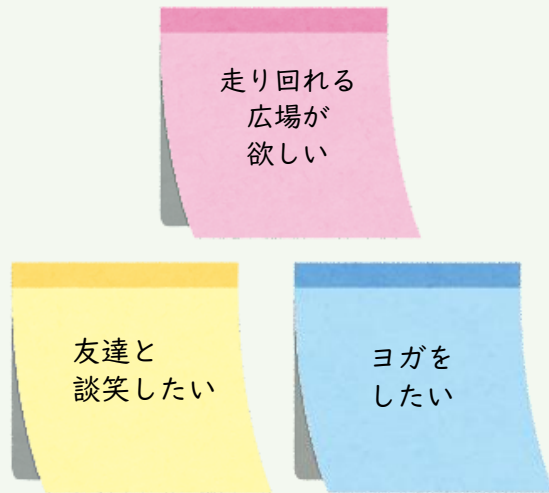
多様な意見があることを認めたくえで、創造的な話し合いを心がけましょう。
意見の違いを超えて公園づくりに関する検討を行い、合意された内容は全員の責任において確認しましょう。

(5) ②ワークショップの進め方

1

意見を付箋に書きましょう

- 1枚の付箋につき、**1つの意見**を書き込んでください。
- 書き込んだ付箋は、**ワークシートに貼ってください。**



2

意見交換をしましょう

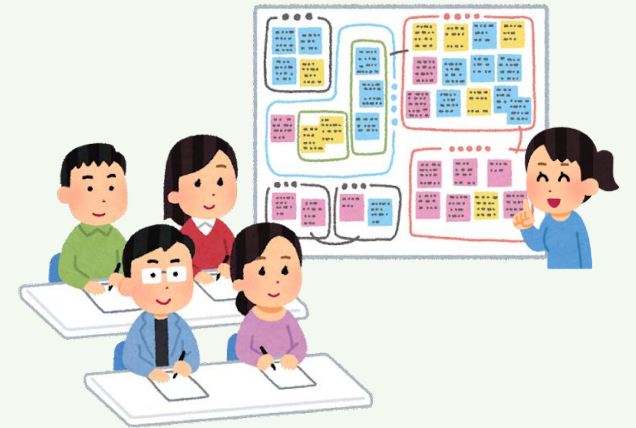
- 班の中で**1人ずつ**意見を発表してください。
- 全員の意見交換が終わったら、班の中での**共通事項**などをまとめてください。
- 班として**1つの意見**を出してください。



3

意見を発表をしましょう

- 班で**1人発表者**を選んでください。
- 班の中で出た意見を**参加者全体へ発表**してください。



～自己紹介～

各班で自己紹介をしましょう

- 簡潔に1人1分程度で説明してください。
- 「名前」
「住んでいる所」
「参加した理由」
「公園の利用方法」
を紹介してください。



(6) ワークショップ

狛江市公園フォーラム『みんなのおもいえがく公園』（平成30年3月実施）の結果

狛江市内の公園の現状及び将来について、子どもを中心に、グループワークにより願いや考え方を把握し、将来の公園整備に活用するため、狛江市公園フォーラムを開催しました。



- ★シンボルとなる時計
- ★災害時用トイレとなるベンチ
- ★ボール遊び用の柵
- ★花火ができる公園
- ★アスレチック遊具や迷路
- ★だんだん深くなる池
- ★深さ5～10cmのせせらぎ
- ★畑を残し果物食べ放題
- ★ソメイヨシノと河津桜を交互に植える
- ★防火水槽を地下に埋める



- ★バリアフリーが充実した公園
- ★花火など火が使えるようにする
- ★災害時にブランコがテントになる
- ★外灯たくさん
- ★せせらぎ水路で木の船を流す
- ★ツリーハウスがある公園
- ★壁があってボールが使える公園
- ★大きなアスレチック、遊具、芝生
- ★ひみつきち
- ★トイレ、水飲み場
- ★畑で野菜と枝豆を育てる



- ★ピザが焼けるかまど
- ★バーベキュー
- ★野菜の採れる畑と丘陵
- ★木影をつくる大きな木
- ★ボール遊び用のネット
- ★ボール当て用の壁
- ★ターザンロープがある公園
- ★トイレあり
- ★井戸あり
- ★土管があるレクリエーションスペース
- ★せせらぎでザリガニ釣り

(6) ①テーマ1

【テーマ1】：駒井公園のコンセプトを考えよう
～どんな公園を目指したいか～

進行：テーブルファシリテーター（30分）

班ごとに進行します

ステップ1 「テーマ毎の公園の方向性」を考えよう

先ほどご説明した公園計画の視点を踏まえると、以下のようなキーワードがあげられます。

公園の**基本的役割**から…

これからの公園に求められる**役割**から…

地域特性から…



→これらを踏まえて、**5つのテーマ**を設定しました。テーマ毎にアイデアをあげてください。

◎ステップ1 作業イメージ

1. アイディアを書き込んでテーマ毎に貼ってください。テーマに**当てはまらないものは、テーマを追加**して整理してください。
2. 話し合っ**て同じ項目**のものや、**似ているアイデア**等があればグループにまとめて整理しましょう。

ワークシート テーマ1 (班)

コンセプト

キーワード

【空間・場所】についての願い
遊び・憩い・体験・見守りなど

【利用者】についての願い
コミュニティ・バリアフリー・インクルーシブなど

走り回れる
広場が
欲しい

休憩できる
場所が
欲しい

誰でも
使える
遊具

トイレは3室
ほしい
(男・女・
多目的)

友達と
談笑し
たい

水飲み場は
ベンチの近く
が良い

【環境・緑】についての願い
グリーンインフラ・緑・環境への配慮など

住民で育て
られる花壇
が欲しい

木陰で休め
るよう樹木
が欲しい

【安全・安心】についての願い
(防犯・防災・健康など)

避難でき
機能が欲
しい

地域の防災
備品を保管
したい

暗がりにな
らない
ように

【地域らしさ】についての願い
歴史・文化・イベント・人材・学びなど

イベントが
できそうな
場所が欲しい

バザーを
開催して
ほしい

【その他】についての願い
※上記で当てはまらないものはテーマを追加して整理してください。

ステップ2 コンセプトを決めてみましょう

ステップ1で考えた機能やイメージなどから、コンセプトを決めてみましょう。

■コンセプトとは？

「全体を通した基本的な考え方」、
「最初から最後までの一貫した考え方」という意味。

■コンセプトの決め方

機能から考えるコンセプト

例「遊びと学びでつながる公園」

遊び

+

学び

なっしてほしいイメージから 考えるコンセプト

例「誰もが楽しく遊べる公園」

例「みんなで育てる公園」

例「～ができる公園」

◎ステップ2 作業イメージ

1. ステップ1での「テーマ毎の公園の方向性」の議論を踏まえて、**コンセプト**に入**りたいキーワード**をあげてみましょう。
2. キーワードを合わせて、意見をまとめてもよいと思います。
3. 公園の**方向性を表現するコンセプト**を考えてください。



【休憩】

(6) ②テーマ2

【テーマ2】：駒井公園のゾーニングを考えよう
～どこでどんな活動をしたいか～

進行：テーブルファシリテーター（30分）

班ごとに進行します

ゾーニングを考えよう

■ゾーニングとは？

機能ごとにエリアを分け、それらを連絡する動線を示して、それぞれの機能の配置やつながりをわかりやすく表現した計画のことです。

■ゾーニングを考える際のポイント

広場



- 利用を考えて、どの程度の広さが必要か
- 子ども向けと乳幼児向けを分けるか
- 利用目的に応じて多様な使い方ができるように配慮するか

遊具



- 園路からアクセスしやすい場所がよい
- 保護者から見守れる場所
- 音など周辺への影響を配慮

休憩所



- 人目を気にせずくつろげる場所・環境
- 子どもを見守りやすい場所
- 長時間いられる快適な環境

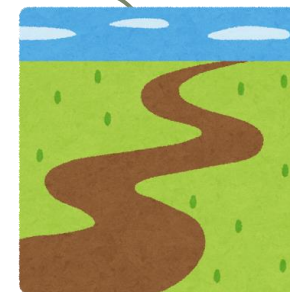
トイレ



- みんなが利用しやすい場所
- 臭いなど周辺への影響に配慮
- 上下水道から近い所が有利

園路

- 入口は3箇所
- バリアフリー対応
- 施設へのアクセスが容易
- 周辺への影響に配慮



コンセプト

例「誰もが楽しく遊べる公園」

1. 考えた機能をもとに、それを実現できる要素・設備などを自由に配置してみましょう。
2. 出し合った意見を話し合いながらグループごとに分けてみましょう。

①機能のゾーンごとに色分けするとわかりやすい！

- ・遊具エリアの面積を広く取りたい
- ・幅広い年代の子が遊べるようにしたい

②動線（歩道）は太い矢印で目立つように表現！



- ・第2期の広い敷地を活かしたい
- ・見晴らしの良い公園にしたい

③公園でやりたいことやゾーニングの理由を書こう！

④樹木・遊具・トイレ・ベンチ・パーゴラはシールを貼ろう！

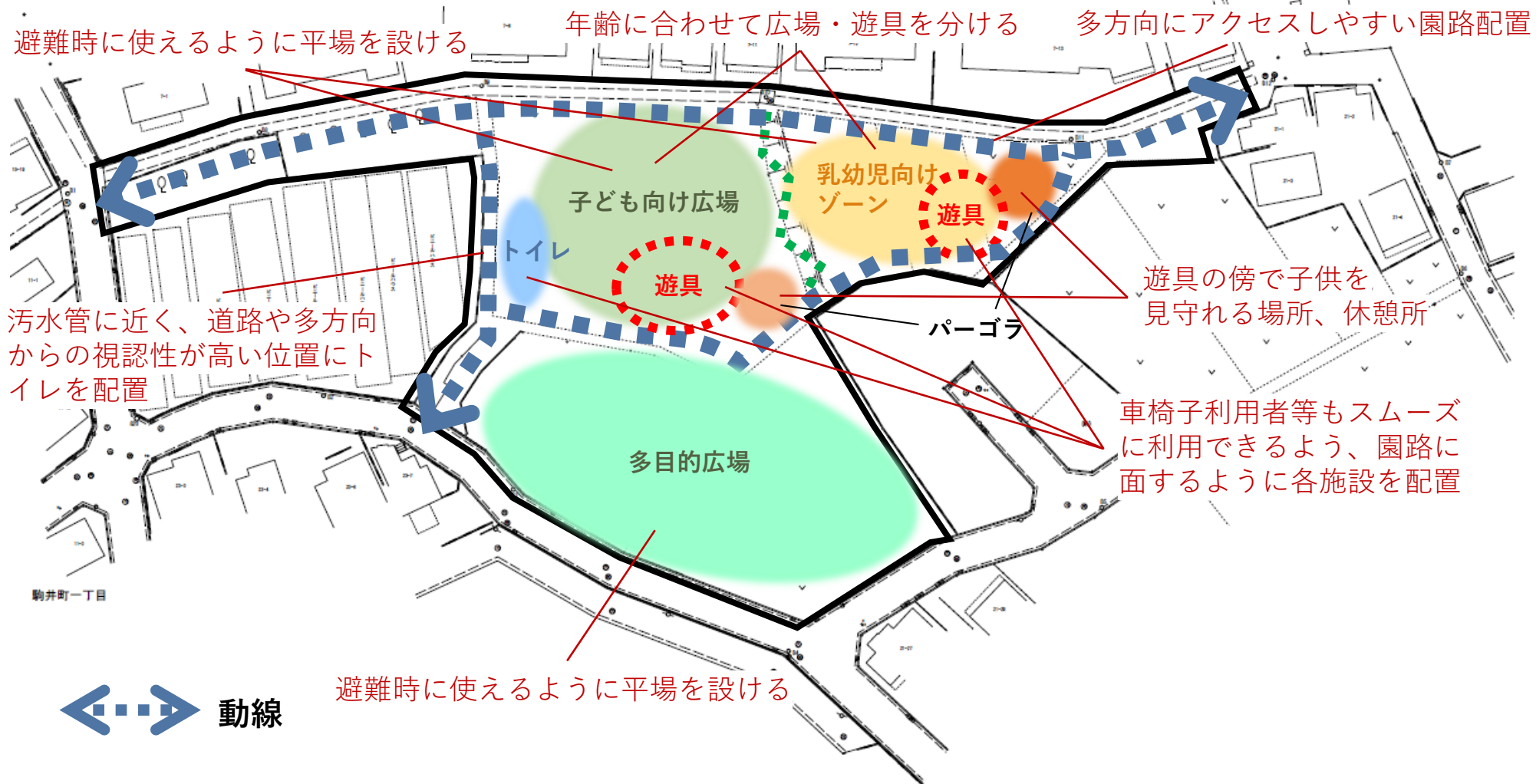
必ず入れる要素

- 広場
- 遊具
- トイレ

- 第1期
- 第2期

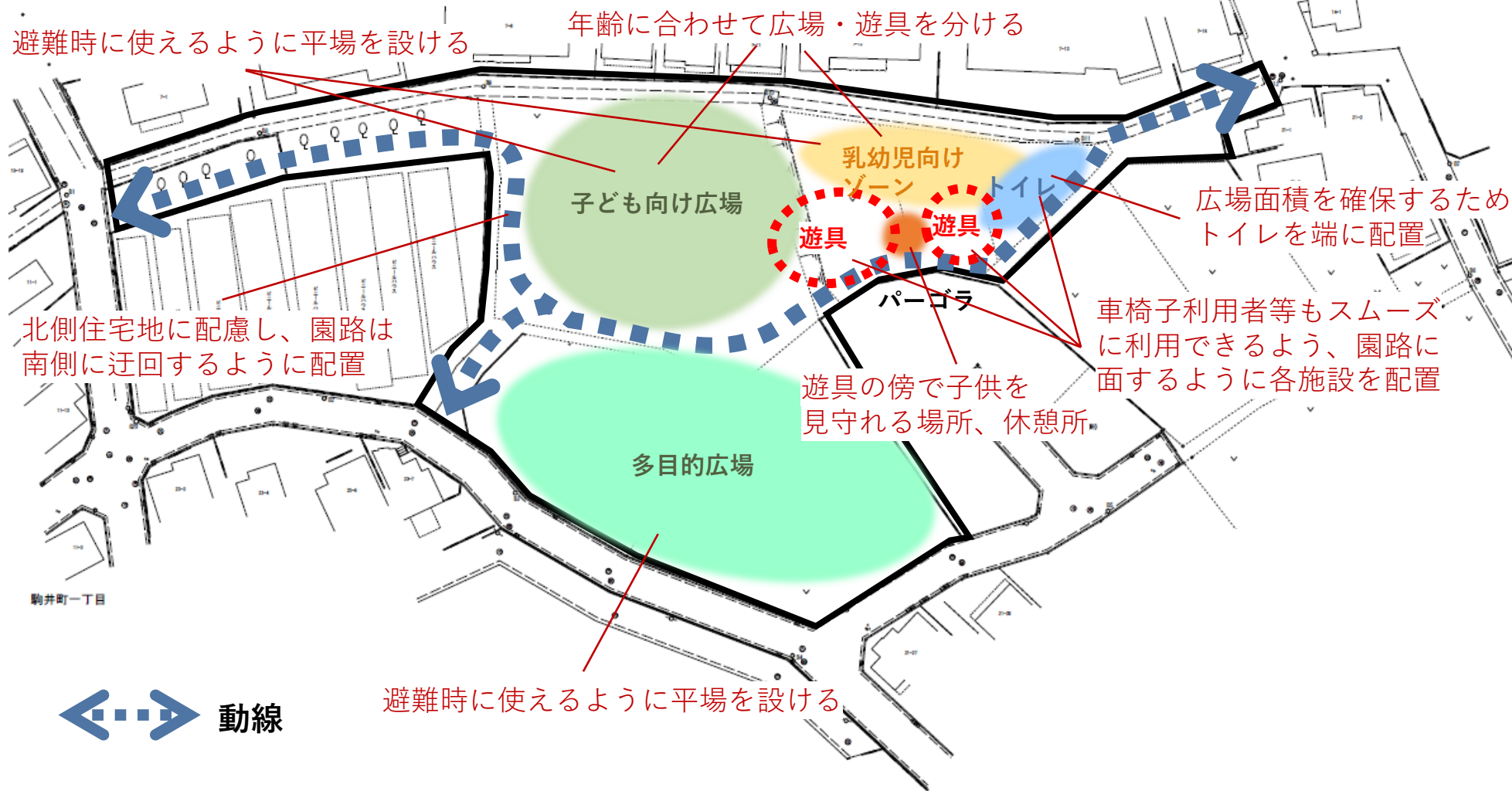
(6) ③ゾーニングの例

■ゾーニング案A 【各機能を分散配置したゾーン分離型】



(6) ③ゾーニングの例

■ゾーニング案B 【ゾーンを分散しつつも動線を少なくした園内回遊型】



(6) ③ゾーニングの例

■ゾーニング案C 【広場を基本とした機能優先型】



～発表～

■発表の方法（1班5分）

1 テーマ1

- 「コンセプト」を発表してください。
- そのコンセプトに至った経緯を、班の中で出た意見や考えた機能を交えながら説明してください。

2 テーマ2

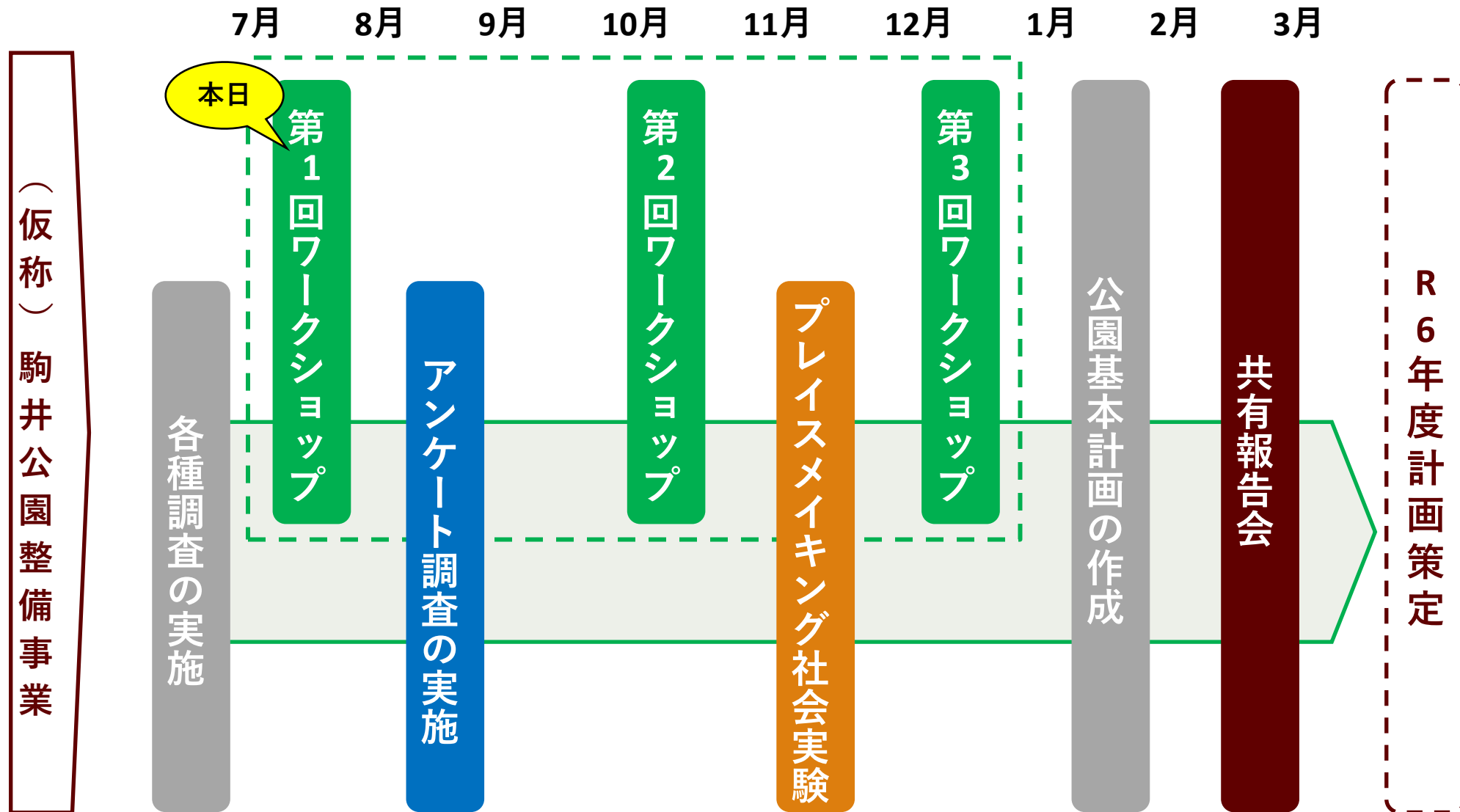
- 「ゾーニング」の概要を発表してください。
- そのゾーニングに至った経緯や考え方のポイントなどを説明してください。



【総評】

(7) 今後のスケジュール (予定)

(7) 今後のスケジュール (予定)



(7) 今後のスケジュール (予定)

	期間	実施内容
 第1回ワークショップ 「どんな公園を目指したいか・どこでどのような活動をしたいか考えよう」	本日	①コンセプト・機能の検討 + ②基本的機能の配置（ゾーニング案）の検討
アンケート調査	令和5年8月上旬	①公園利用者の特性の把握 ②現状の公園利用の把握 ③公園計画の方向性の把握(テーマ・導入機能等) ④市民の関わり方の意向把握
第2回ワークショップ 「公園のイメージを具体化しよう」	令和5年10月上旬	①コンセプト・ゾーニングの確認 ②導入機能の具体化の検討(設備等の種類・配置) ③公園のルールづくり
プレイメイキング社会実験 「公園を肌で体感しよう」	令和5年11月上旬	①対象地で規模感・イメージの確認 ②プログラムの実施 ③簡易アンケートの実施
第3回ワークショップ 「公園のイメージを確認しよう」	令和5年12月上旬	①公園基本計画の確認(コンセプト・基本方針・平面図) ②管理運営の手法の検討
共有報告会	令和6年2月下旬	基本方針案の作成 ①基本設計案の共有 ②今後の整備・整備後の市民の関わり方の共有

ご清聴ありがとうございました。